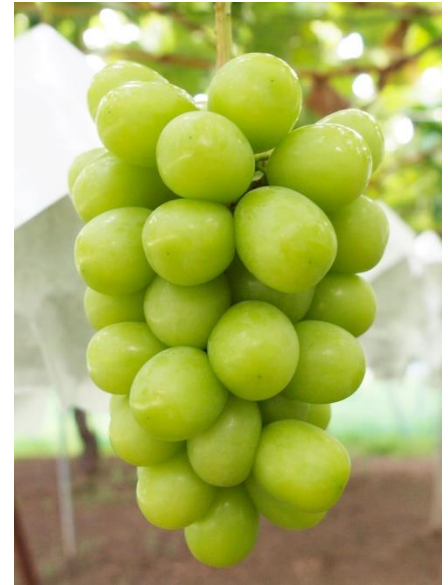


ブドウの強摘心栽培が 果粒の成熟に及ぼす影響

～能勢のブドウ栽培について～

テーマ設定の理由

- 最近、能勢でブドウ栽培に取り組む方が増えている。
- 大阪のブドウ生産量 📍〔**全国7位**〕
- 大阪南部の「デラウェア」 📍〔**全国3位**〕

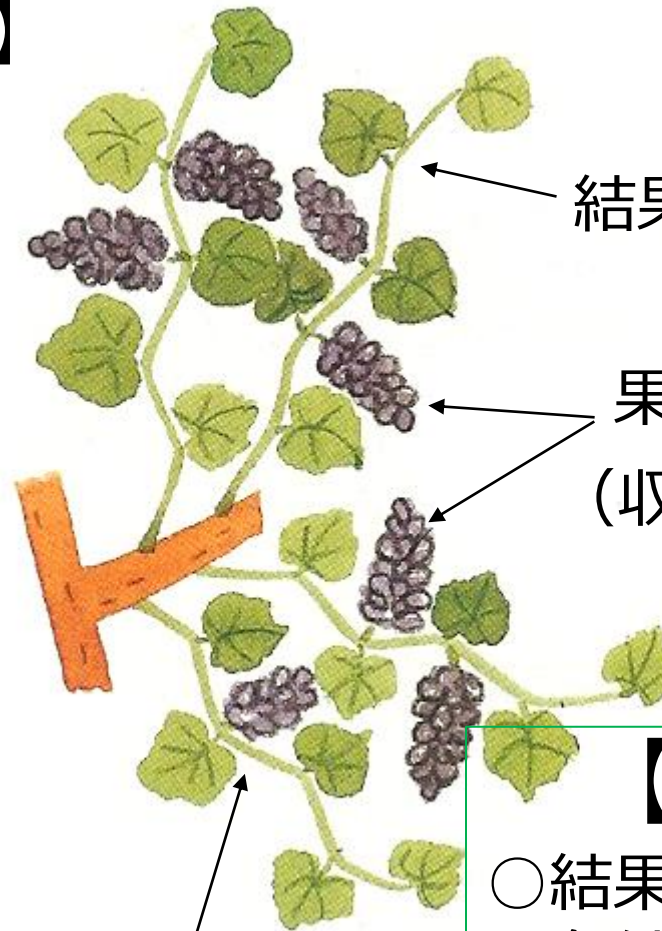
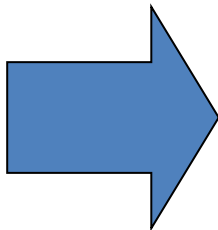
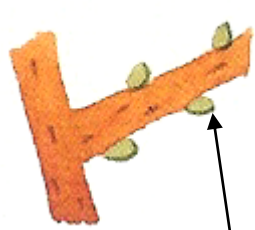


- 能勢では？
 - ・新しい栽培方法の検討
 - ・ブドウ生産農家の見学

栽培方法の検討：ブドウのでき方

【4月～】

【冬季】



結果枝

果房

(収穫：8月中旬
～9月下旬)

【摘心】

- 結果枝は約1.5mで切る。
- 各結果枝に1～2房とする。
- 葉果比20～25枚

花芽
(混合花芽)

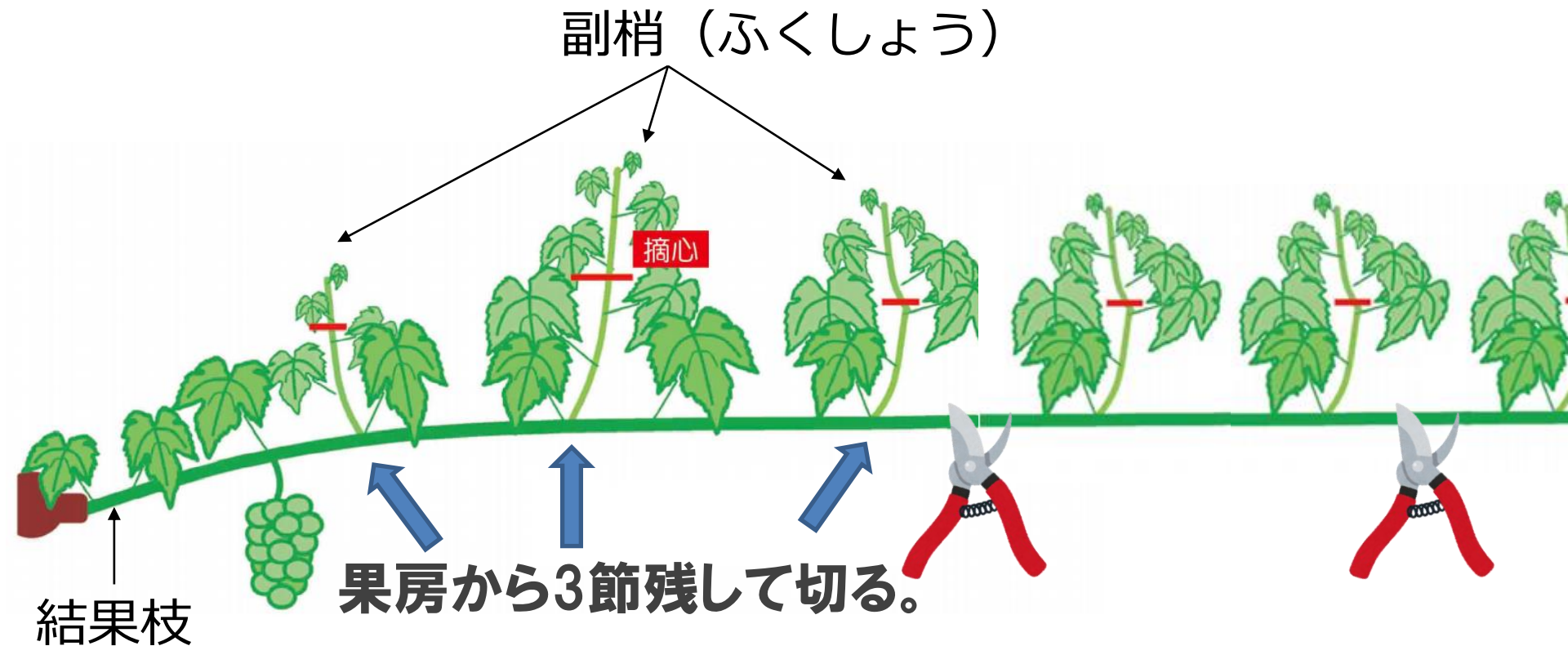
結果枝

栽培方法の検討：強摘心栽培

「シャインマスカット」などで開発

通常の摘心 ⇨ 約1.5mの長さ（果房から約7節）

強摘心 ⇨ 約60cm程度の長さ（果房から約3節）



栽培方法の検討

「強摘芯が果粒の成熟に及ぼす影響」

【目的・期待する効果】

- ・ 結果枝を短く維持できる ➡ 栽培管理しやすい。
- ・ 1 樹あたりの栽培面積少 ➡ 植栽本数増 ➡ 収量 ↑

【対象品種・調査期間】

「デラウェア」 6/25～8/24

「キャンベルアーリー」 6/25～9/3

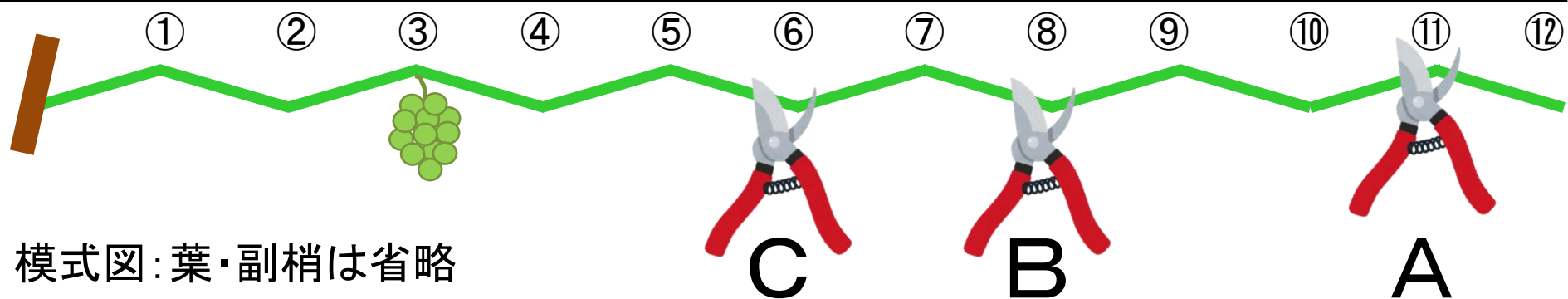
「マスカットベリーA」 6/18～9/10

【調査方法】

- ・ 生育調査 : 定期的に果粒の大きさ（横径）を測定
- ・ 収穫時調査 : 収穫時に糖度なども測定

実験区の設定

実験区	摘心の程度 (残す節数)	副梢の葉数 (合計葉数)	備考
A	基部から10節残す	1葉 (20葉)	慣行法
B	基部から 7節残す	2葉 (21葉)	
C	基部から 5節残す	3葉 (20葉)	



生育調査の様子

果粒の大きさをノギスで測定し、記録。



実験区の様子



↖ 実験区 A ↑ 実験区 B



← 実験区 C

「キャンベルアーリー」

生育の様子

「キャンベルアーリー」

実験区 A



実験区 B



実験区 C



収穫時の様子

「キャンベルアーリー」



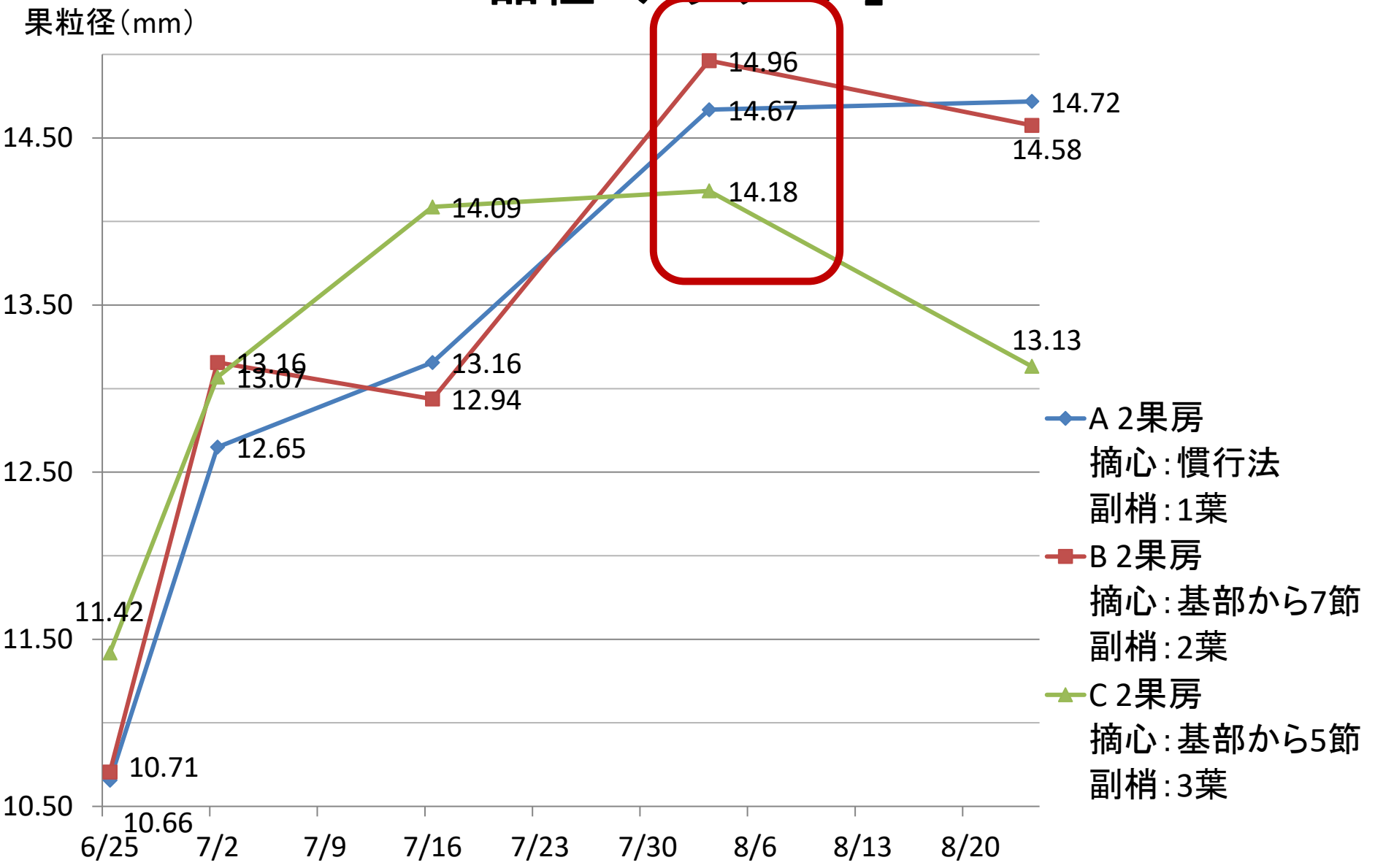
収穫時の様子

デラウェア



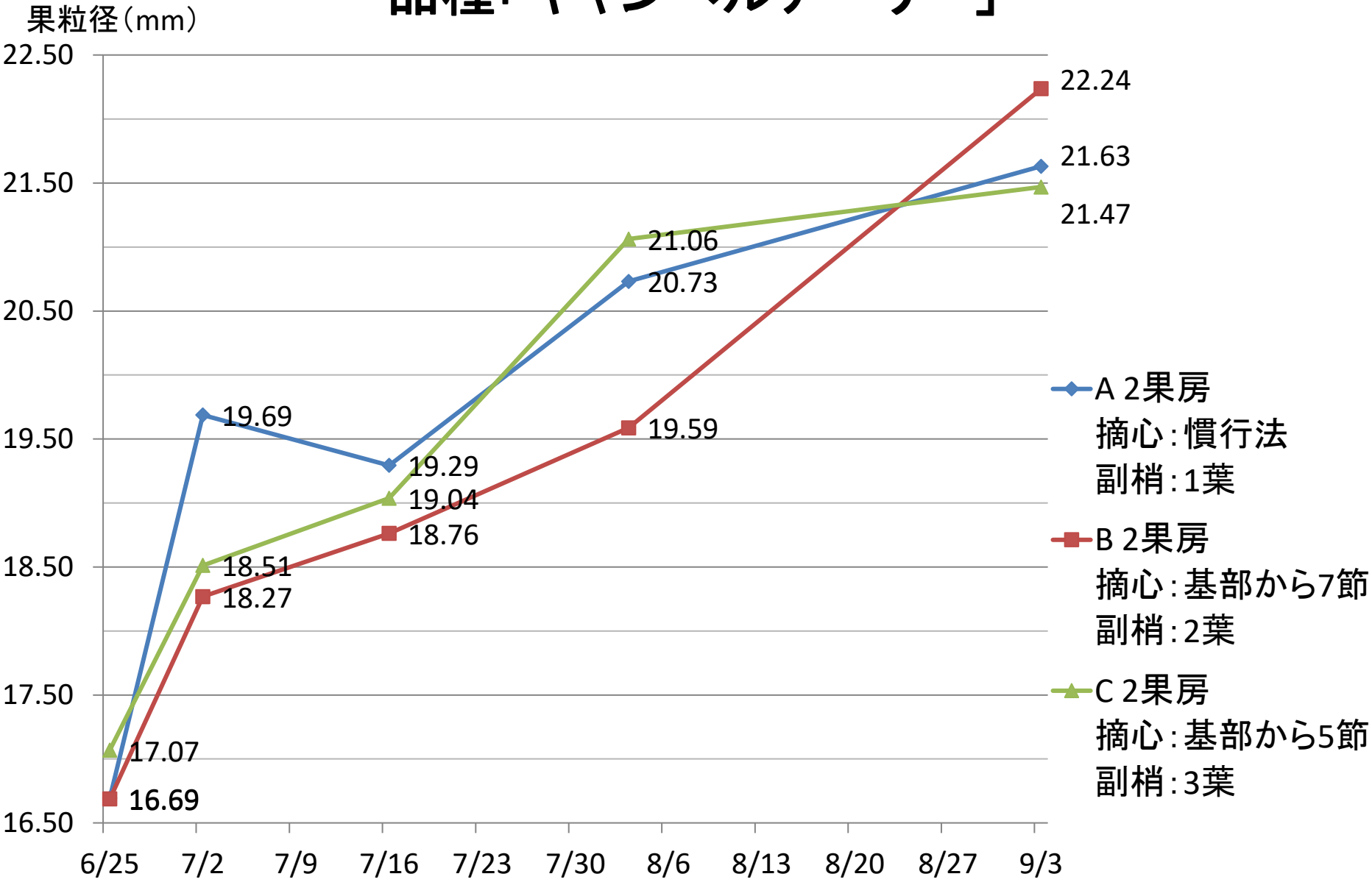
結果 摘心の程度が果粒の肥大に及ぼす影響

品種「デラウェア」



結果 摘心の程度が果粒の肥大に及ぼす影響

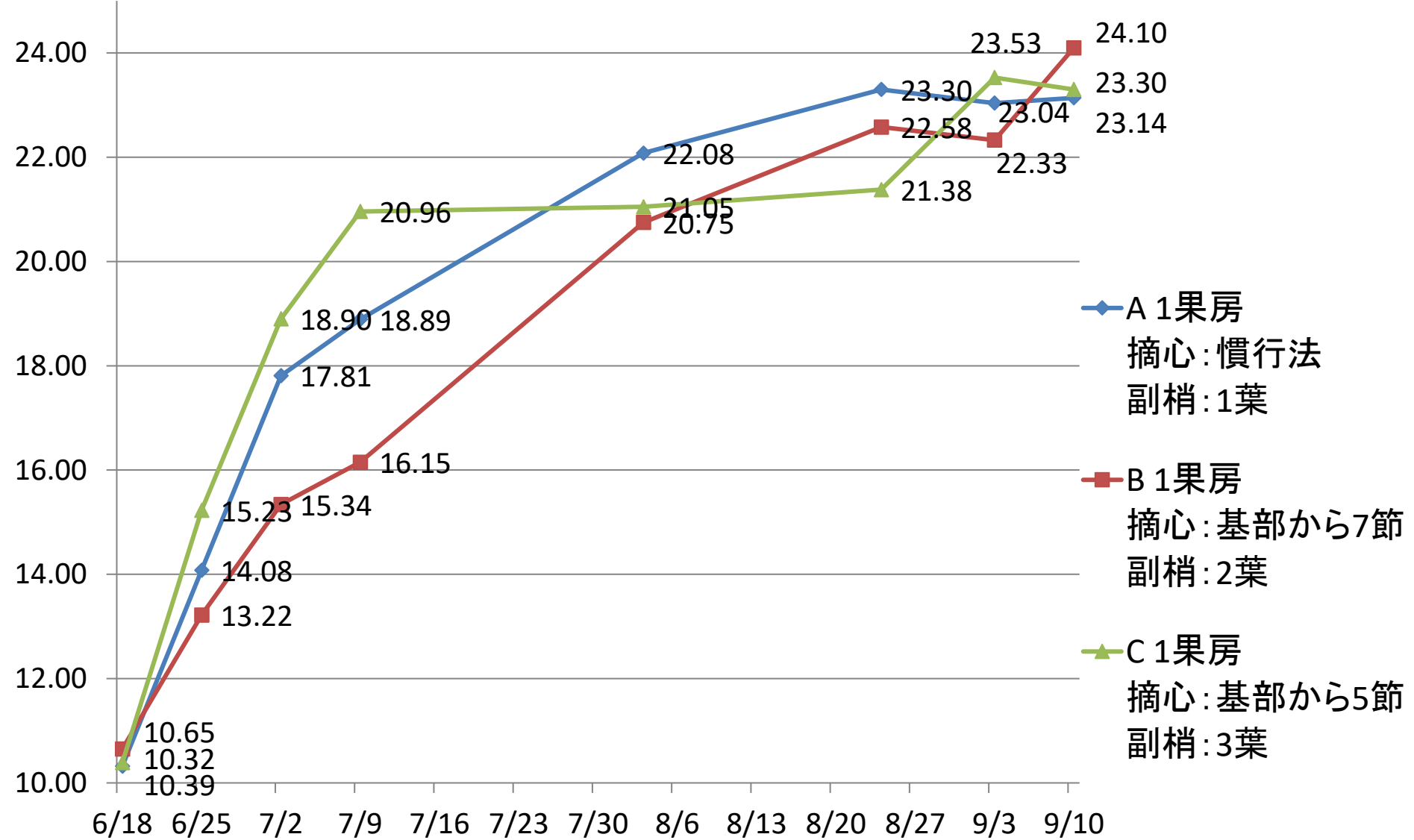
品種「キャンベルアーリー」



結果

摘心の程度が果粒の肥大に及ぼす影響 品種「マスカットベリーA」

果粒径 (mm)



結果：収穫時調査

糖度など測定。品種「キャンベルアーリー」



収穫果房の状態

「デラウェア」 (収穫日: 8/24)

実験区 A

実験区 B

実験区 C



結果

収穫果房の状態 品種「デラウェア」

実験区	A	B	C
摘心	基部から10節	基部から7節	基部から5節
副梢葉数 (合計葉数)	1葉(20葉)	2葉(21葉)	3葉(20葉)
果房重量 (g)	71.8	74.2	63.2
果房全長 (mm)	99.9	98.8	99.4
果房横径 (mm)	60.1	60.7	57.1
果房全体の 着色の程度	5.0	4.4	4.4
果粒径 (mm)	14.8	14.3	13.1
糖度 (%)	18.5	18.3	18.1

収穫果房の状態

「キャンベルアーリー」 (収穫日 : 9/3)

実験区 A

実験区 B

実験区 C



結果

収穫果房の状態 品種「キャンベルアーリー」

実験区	A	B	C
摘心	基部から10節	基部から7節	基部から5節
副梢葉数 (合計葉数)	1葉(20葉)	2葉(21葉)	3葉(20葉)
果房重量 (g)	279.0	296.8	257.7
果房全長 (mm)	18.3	17.8	17.1
果房横径 (mm)	9.5	9.5	9.4
果房全体の 着色の程度	5.0	2.9	3.9
果粒径 (mm)	21.8	22.3	21.4
糖度 (%)	14.3	12.9	14.1

収穫果房の状態

「マスカットベリーA」 (収穫日：9/10)

実験区 A

実験区 B

実験区 C



結果

収穫果房の状態

品種「マスカットベリーA」

実験区	A	B	C
摘心	基部から10節	基部から7節	基部から5節
副梢葉数 (合計葉数)	1葉(20葉)	2葉(21葉)	3葉(20葉)
果房重量 (g)	640.6	581.0	668.0
果房全長 (mm)	19.7	21.9	197.0
果房横径 (mm)	10.6	10.9	83.3
果房全体の 着色の程度	5.0	5.0	5.0
果粒径 (mm)	23.1	24.1	23.3
糖度 (%)	15.8	16.5	16.7

考察

- どの品種も実験区 B がもっともよく肥大していた。
- キャンベルアーリーについては、摘心の程度を強くすると成熟期が遅くなると考えられる。
- デラウェアは摘心を強くすると着色が少し弱まった。
- マスカットベリーAはどの実験区もよく着色した。
- 摘心の程度を強めるなら、副梢の葉をしっかりと確保することが重要。

生産者の見学「あさひファーム」

(能勢町下田)

- ① 6/22 繁忙期（ジベレリン処理など）
- ② 10/11 収穫ほぼ終わり



あさひファーム 栽培品種



シャインマスカット



藤 稔



ゴルビー



ブラックビート



スカーレット



マスカットノワール



マスカサーティーン



天 晴



クイーンニーナ



ポ ン タ

あさひファーム

あさひファーム
2021年度

完売御礼

本年度の販売は終了致しました
ありがとうございました

「大阪産(もん)」(H28～)
能勢町「ふるさと納税返礼品」(R02～)

旭さんの想い

○能勢の気候はブドウ栽培に適している。

☞ 昼と夜の温度差が大きい。

○能勢の自然の恵み、チカラを活かしたブドウ栽培

○“儲けたい”ではなく、“本当に良いブドウ”を作りたい。

○ブドウの都合に自分が合わせる。

○“自分の子ども”と思って大事に育てている。

旭さんの想い

○来てくれたお客さんに納得して買ってもらう【直売】

○ブドウ栽培は、経済的に成立可能。

○海外からの注文もあり、朝収穫したら、夕方には台湾などのお客さんに届く。

△施設栽培（ビニールハウスや棚など）なので、最初にお金がかかる。

△植えてから3年目以降に収穫できる。

☞最初の3年、家族や行政の援助があれば。

☆**能勢分校生の中から、ブドウ栽培に取り組む人が出てきてほしい。**

保存試験

フレッシュキャップをつけて冷蔵（1℃）



結果

フレッシュキャップの有無による果房の状態 品種「マスカットベリーA」(収穫日から42日後)

フレッシュキャップ	あり	なし
調査数	7	3
果房重量	531.1	526.7
糖度	16.7	16.6
果粒の凹み	3.4	3.7
脱粒	0.3	0.7
主軸の状態	良好:3 途中から萎れ:4	褐変、萎れ:3
食味	OK	OK

結果

フレッシュキャップの有無が果房重量、糖度に及ぼす影響
品種「マスカットベリーA」(収穫から42日後)

フレッシュキャップ	果房重量(g)		
	9/10	10/22	増減
あり	616.4	531.1	85.3
なし	632.7	526.7	106.0

フレッシュキャップ	糖度(%)		
	9/10	10/22	増減
あり	16.6	16.7	-0.1
なし	16.4	16.6	-0.2

保存試験 果房の状態（42日後）



文化祭展示 (11/13)



さいごに

- 能勢の気候に合っているブドウ栽培
- 能勢で暮らし、能勢の自然の力を最大限に生かしたブドウ生産。何人かで集まってグループ形成
- 保存技術を活かした適期出荷
- 国内に限らず海外も商圏にできる。
- 旭さんの想いに応える可能性はかなりある。
「大阪ぶどう」 ➡ 「能勢ぶどう」
能勢をブドウの産地に！